

# 学校評価アンケート結果・考察



浜松市立相生小学校  
令和8年3月

# 令和7年度 浜松市立相生小学校 学校評価報告書

## 1 自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策

別冊「学校評価アンケート結果・考察」のとおり

## 2 学校関係者評価

2月25日(水)に開催した学校関係者評価委員会(学校運営協議会)において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・ 挨拶についての数値が低くなっているが、校舎の中を歩いているとほとんどの子が進んで挨拶をしてくれて感心した。学校の声掛けや挨拶運動などの活動も効果的だったと考えられる。
- ・ 直近の6年生の校外学習や九九検定など、学校の先生と協力しながらボランティア活動を充実させることができている。  
今後、ボランティアが待機できる「CSルーム」を設置することができれば、ボランティアの方々が、合間の時間に待機することができ、より活動に協力しやすくなる。また、休み時間等の時間を使って九九の練習を一緒に行うなど臨機応変な対応もできるかもしれない。
- ・ 鍛え合い部の高い数値は納得ができる。ただ、老朽化による遊具が廃止になったり、中学校での部活動が変化していったりする中で、子供が体を動かす場所や機会の担保、運動の二極化などの課題がある。
- ・ いじめはだめだが、気持ちを伝えたり、意見を言い合ったりすることで、子供たちが人間関係をつくっていく過程は大切である。

## 3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・ 生活のめあてに挨拶を設定したり、委員会主体で挨拶運動を行ったりして指導をしてきた。まだ、声を掛けられても挨拶を返せない子もいるのでどんな場面でも明るい挨拶が日常化されるよう、粘り強く声掛け称揚を継続していく。
- ・ 風の子太陽の子応援団(CSボランティア)の活動が、昨年度より一層活発になり、身近な大人と関わって活動する経験が増え、児童の活動が充実している。今後もたくさんの方に応援団に登録、参加していただくため、募集・登録するグループを再編成することで、活動を幅広く知ってもらえるように工夫をする。  
また、CSルームを設置し、ボランティアの方々がボランティアに参加しやすいようにする。

- ・ いじめについては、これからも迅速かつ適切に組織的に対応し、重大化を防ぐ。事情を聴く際には、双方の気持ちや考えを十分に聞き、子供同士でも気持ちを伝え合ったり、考えを認め合ったりする雰囲気づくりをしていく。  
また、いじめを許さない意識づくりを委員会活動、代表委員会を通じて子供主体で取り組み、浸透させていく。
- ・ 体育の授業や生き生きタイムに取り組んでいる「あいスポーツ」を充実させる中で、運動する機会を確保するとともに、体を動かすことの楽しさや大切さが実感できるような手立てを工夫していく。また、運動会や持久走記録会に向かって、自分らしく主体的に取り組む態度を育んでいく。

# 令和7年度 学校評価アンケート結果

R7.12実施

|   | 児童   | よく出来ている+大体できている(%)   | 保護者  | よく出来ている+大体できている(%)   | 教職員  | よく出来ている+大体できている(%)   |
|---|--|----------------------|--|----------------------|--|----------------------|
| なりた<br>学びたい<br>合い、自<br>分にも向<br>かっ成<br>長つて<br>主<br>体的に | 授業で学ぶことの意味や目的、学ぶ良さが分かっている。   | 93<br>前期 93<br>R6 88 | 子供は学ぶ意味や目的、学ぶ良さが分かっている。  | 78<br>前期 76<br>R6 79 | 学ぶ意味や目的、学ぶ良さを子供たちが分かるような授業をしている。   | 86<br>前期 86<br>R6 96 |
|   | 学習のめあてを解決するための調べ方や話し合いの仕方が分かっている。  | 91<br>前期 90<br>R6 85 | 子供は、課題解決の方法(調べ方、まとめ方など)や手順などの学び方が分かっている。(ノート記述、レポート、作品など)【単一選択(必ず一つを選択)】         | 73<br>前期 69<br>R6 70 | 子供たちが学び方が分かるように、手立てを講じている。<br>(☑️後期変更・・・学年の段階に応じて「課題の提示」「活動のめあて」「情報の収集」などを活用し、相生スタンダードを目指して、子供たちが主体的・協働的に学習を進めるための「学び方」が分かるように手立てを講じている。 | 90<br>前期 95<br>R6 92 |
|   | 授業で目当てについて考えるときに、前に学んだこととつながり友達の話聞いて自分の考えと比べたり違いや同じところを探したり理由をつけて自分の考えを言ったりしている。 | 81<br>前期 87<br>R6 85 | 前に学んだこととつながり、自分の友達の考えを比べたり、いくつかの資料の中から最適なものを選んだり、共通点や違いを見つけたりするなどして、課題について考えている。 | 76<br>前期 69          | 「比べる」「仲間分けする」「つなげる」「順序良く並べる」「類推する」などの考え方を示し、授業をしている。   | 67<br>前期 48<br>R6 64 |
|   |  | 87                   | 子供は、家庭学習に進んで問い組んでいる。   | 69<br>R6 82<br>R5 78 | 子供たちが、主体的に家庭学習を進めるための手立てを講じている。(家庭学習の事前指導、家庭への説明、見届け、称揚など)   | 85                   |
|   |  | 94                   | 子供は、持ち帰ったタブレットについて、学校や家庭の約束を守り、家庭学習で活用している。                                      | 90                   | クロームブック活用の仕方(情報モラル指導含む)について説明をし、主体的・協働的な学びにつながる手立てを講じている。  | 76                   |

|  |                                  |                      |                                    |                      |   |                        |
|--|----------------------------------|----------------------|------------------------------------|----------------------|---|------------------------|
| 自<br>他<br>の<br>よ<br>さ<br>を<br>知<br>り、<br>認<br>め<br>合<br>い<br>高<br>め<br>合<br>う<br>子 | 友達のよいところに気付くことができている。            | 96<br>前期 93<br>R6 91 | 子供は、友達のよいところに気付く、協力し合うことができている。    | 93<br>前期 93<br>R6 95 | 自分や友達のよいところを認め、仲良く生活できるような手立てを講じている。    | 90<br>前期 91<br>R6 96   |
|  | よいことと悪いことを判断し行動することができている。       | 91<br>前期 85<br>R6 82 | 子供は、よいことと悪いことを判断し、正しく行動することができている。 | 92<br>前期 91<br>R6 89 | 善悪を判断し、行動できるような手立てを講じている。               | 90<br>前期 96<br>R6 92   |
|  | いつでもだれに対してもあいさつをすることができている。      | 87<br>前期 92<br>R6 89 | 子供は、地域や家庭で進んで挨拶することができている。         | 75<br>前期 79<br>R6 77 | いつでも誰にでも挨拶ができるような手立てを講じている。             | 80<br>前期 91<br>R6 79.2 |
|  | よりよい学級・学年・学校にするために進んで働くことができている。 | 89<br>前期 94<br>R6 92 | 子供は、人のために進んで働くことができている。            | 89<br>前期 88<br>R6 85 | よりよい学級・学年・学校にするために働くことができるような手立てを講じている。 | 89<br>前期 91<br>R6 92   |

|  |                          |                      |                               |                      |                                   |                        |
|--|--------------------------|----------------------|-------------------------------|----------------------|-----------------------------------|------------------------|
| 心<br>身<br>と<br>も<br>に<br>健<br>康<br>で、<br>あ<br>き<br>ら<br>め<br>ず<br>に<br>挑<br>戦<br>し<br>続<br>け<br>る<br>子 | 体を動かすことが楽しく学校で進んで運動している。 | 84<br>前期 84<br>R6 82 | 子供は、体を動かすことが好きで、学校で進んで運動している。 | 83<br>前期 85<br>R6 83 | 体を動かす楽しさを味わい、進んで運動するような手立てを講じている。 | 90<br>前期 85<br>R6 91.6 |
|  | 健康に気を付けて、生活している。         | 91<br>前期 92<br>R6 86 | 子供は、健康に気を付けて生活している。           | 91<br>前期 89<br>R6 91 | 健康に気を付けて生活ができるような手立てを講じている。       | 90<br>前期 95<br>R6 96   |
|  | 周りをよく見て安全に生活することができている。  | 91<br>前期 87<br>R6 88 | 子供は、周りの状況を見て安全に生活することができている。  | 93<br>前期 92<br>R6 91 | 周りの状況を見て安全に生活できるような手立てを講じている。     | 90<br>前期 86<br>R6 84   |

|                            |                                |                      |  |                      |   |                        |
|----------------------------|--------------------------------|----------------------|--|----------------------|---|------------------------|
| キ<br>ャ<br>リ<br>ア<br>教<br>育 | 相手の話をよく聞き、友達と協力して行動している。       | 91<br>前期 94<br>R6 89 | 子供は、相手の話をよく聞き、友達と協力して行動することができる。       | 93<br>前期 94<br>R6 90 | 子供が相手の話を聞き、友達と協力して行動できるような手立てを講じている。          | 85<br>前期 90<br>R6 92   |
|                            | 自分のよさに気付き、自信をもっている。            | 82<br>前期 83<br>R6 79 | 子供は、長所を伸ばしたりさらに高めようと努力したりしている。         | 83<br>前期 84<br>R6 82 | 子供が自分のよさに気付き、自信をもつような手立てを講じている。               | 89<br>前期 91<br>R6 100  |
|                            | 失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦している。     | 87<br>前期 88<br>R6 84 | 子供は、失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦することができる。     | 73<br>前期 72<br>R6 72 | 子供が失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦できるような手立てを講じている。      | 84<br>前期 76<br>R6 88   |
|                            | 夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学ぶことができる。 | 89<br>前期 90<br>R6 88 | 子供は、夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学んだりすることができる。 | 79<br>前期 78<br>R6 78 | 子供が夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学ぶことができるような手立てを講じている。 | 85<br>前期 85<br>R6 95.8 |

| 児童                                    | よく出来ている+大体できている(%)   | 保護者   | よく出来ている+大体できている(%)   | 教職員  | よく出来ている+大体できている(%)     |
|---------------------------------------|----------------------|---|----------------------|--|------------------------|
| 学校は楽しい。                               | 88<br>前期 90<br>R6 89 |   |                      |  |                        |
| 先生は、よいところをほめてくれる。                     | 90<br>前期 93<br>R6 94 |   |                      |  |                        |
| 先生は授業でキャリア教育で育てたい4つの力について話してくれる。      | 89<br>前期 88<br>R6 87 | 相生小のキャリア教育で育てたい4つの力について知っている。               | 77<br>前期 76<br>R6 85 | ※ ↓R7前期に下線部を加えた。   |                        |
| 先生はchromebookを使った授業をしてくれる。            | 96<br>前期 94<br>R6 94 | 学校は、タブレットパソコンや大型テレビなどのICT機器を使って授業をしている。     | 95<br>前期 94<br>R6 93 | 業務を行う際にICT機器を積極的に活用したり、 <u>情報機器やフォルダの整理・整とんなど環境整備に心掛けたりしている。</u>                   | 63<br>前期 59<br>R6 69.2 |
| 先生のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらった学習や活動は楽しい。 | 94<br>前期 96<br>R6 94 | 学校では教師のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらって学習や活動を行っている。 | 97<br>前期 97<br>R6 94 | <u>CS学校支援コーディネーターやCS担当と連絡・調整をしながら、「風の子太陽の子応援団(CSボランティア)」の協力を得ることができている。</u>        | 85<br>前期 91<br>R6 100  |
|                                       |                      | 学校は、子供に寄り添い教育活動をしている。                       | 93<br>前期 92<br>R6 97 |  |                        |
|                                       |                      | 学校は、学校学年だよりさくら連絡網などで学校の教育活動を知らせている。         | 96<br>前期 97<br>R6 96 | 学校・学年便り、さくら連絡網やブログ等での連絡を通して、開かれた学校づくりができています。                                      | 60<br>前期 86<br>R6 92.3 |
|                                       |                      | 学校は子供のことを相談しやすい。                            | 90<br>前期 90<br>R6 93 |  |                        |
|                                       |                      |   |                      | 職員の子供と向き合う時間の確保ができるような手立て(スマート会議、事務負担軽減、職場環境整備など)が講じられている。                         | 80<br>前期 73<br>R6 55.5 |
|                                       |                      |   |                      | 自分自身や学年等のタイムマネジメント、 <u>諸活動におけるPDCAを意識した仕事</u> をしている。<br>※R6 「自らのタイムマネジメントができています。」 | 58<br>前期 62<br>R6 55.5 |

## 学校評価アンケート 考察

※ 児童・保護者・教職員に同様の質問をしたアンケート項目については、子供への質問文で表記

※ 数字は、「よくできている」「できている」の合計

### 学び合い（知） なりたい自分に向かって主体的に学び合い、ともに成長する子

○授業で学ぶことの意味や目的、学ぶ良さが分かっている。

児童 93% 保護者 78% 教職員 86%

○学習のめあてを解決するための調べ方や話合いの仕方が分かっている。

児童 91% 保護者 73% 教職員 90%

○授業で課題について考えるときに、前に学んだこととつなげたり、友達の話聞いて自分の考えとつなげたり、友達の話聞いて自分の考えと比べたり違いや同じところを探したり、理由をつけて自分の考えを言ったりしながら学習を進めている。

児童 81% 保護者 76% 教職員 67%

学習に関する意識調査では、昨年度より向上した前期と同様の結果となった。特に、学年だより等による情報発信が、保護者の理解向上につながっていると考える。

一方で、既習内容や友達の考えと関連付けて学ぶ力については、児童の自己評価にやや低下が見られた。これは、学び方を意識する中で、以前よりも自分の課題に気付くようになったことが要因と考えられ、よい傾向であると捉えている。

今後も、子供主体の授業づくりとともに、学びの過程や成果を家庭へ積極的に発信していく。

○家庭学習に進んで取り組んでいる。

児童 94% 保護者 90%

○持ち帰ったタブレットについて、学校や家庭の約束を守り、家庭学習で活用している。

児童 94% 保護者 90%

各家庭の協力のおかげで、子供たちは家庭学習に進んで取り組むことができている。

これからは、「与えられた課題をこなす」だけでなく、「自分で学び方を考え、工夫しながら取り組む」主体的な姿を大切にしていける。量や方法を自分で調整する力は、現代社会で求められる大切な力であるため、今後も家庭学習の質の向上に向けて支援を続けるとともに、学年だより等で分かりやすく情報発信に努めていく。

### 認め合い（心） 自他のよさを知り、認め合い高め合う子

○友達のよいところに気付くことができている。

児童 96% 保護者 93% 教職員 91%

○よいことと悪いことを判断し、行動することができる。

児童 91% 保護者 92% 教職員 90%

○いつでもだれに対しても挨拶をすることができる。

児童 87% 保護者 75% 教職員 80%

○よりよい学級・学年・学校にするために進んで働くことができる。

児童 89% 保護者 89% 教職員 89%

「友達のよさに気付く」「よいことと悪いことを判断して行動する」については、前期より児童の意識がさらに高まり、望ましい成長が見られた。今後も互いのよさを認め合い、規範意識を高める指導を継続していく。

一方、「あいさつ」については全体的に数値が低下しており、学校としての課題と捉えている。明るくあいさつが日常化するように、声かけや称揚、委員会活動による呼びかけを進めていく。また、進んで働く態度については児童の意識にやや低下が見られたため、活動の工夫や励ましを通して意欲の向上を図っていく。今後も、よりよい学級・学年・学校づくりに主体的に取り組む姿を育てていく。

**鍛え合い** 心身ともに健康で、鍛え合い、あきらめずに挑戦し続ける子

- 体を動かすことが楽しく、学校で進んで運動している。児童 84% 保護者 83% 教職員 90%
- 健康に気を付けて生活している。児童 91% 保護者 91% 教職員 90%
- 周りをよく見て安全に生活することができている。児童 91% 保護者 93% 教職員 90%

「運動に進んで取り組む」についてはやや低下が見られたが、インフルエンザの流行等も要因の一つと考えている。2学期は運動会や持久走などの行事、3学期は縄跳び運動を中心に、日常的に仲間と運動する楽しさや粘り強さを育んできた。

「健康に気を付けて生活する」は前期同様に高い意識を保っており、引き続き感染症対策と生活習慣の改善に取り組んでいく。また、どの学年においても、好き嫌いなく給食を食べよう、残さず食べようという意識が高まってきている。

すこやかチェック（ハンカチ・ティッシュ、爪、睡眠、朝ごはんのチェック）についても意識的に取り組んでいる学年・学級も多くなった。

「安全に生活する」はやや向上している。学校での子供たちへの声掛け、お便り等での保護者への投げ掛けによる効果と考えている。

今後も、基本的な生活習慣や安全意識を高め、子供たちが安心して元気に過ごせる環境づくりを進めていきたい。

**キャリア教育** 自分の夢や目標をもち、夢や目標の実現に向けて努力することができる。

- 相手の話をよく聞き、友達と協力して行動している【温】児童 91% 保護者 93% 教職員 85%
- 自分のよさに気づき、自信をもつことができている【高】児童 82% 保護者 83% 教職員 89%
- 失敗をおそれず自分の考えた方法で繰り返し挑戦している【挑】児童 87% 保護者 73% 教職員 84%
- 夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学んだりすることができている【夢】児童 89% 保護者 79% 教職員 85%

どの項目についても、前期とほぼ同様の結果となった。

今後も引き続き、「なりたい自分」に向かって、目標をもち、お互いに認め合ったり、自分らしく選択・判断しながら進めたりする活動を大切に、それに対して頑張っている姿を称揚していくことで自信をもたせたいと考えている。成功体験をし、多くの達成感を得ることを通して、目標や夢に向かっていくことの素晴らしさを感じさせたい。

その他

○学校は楽しい。 児童 88%

○先生はよいところをほめてくれる。 児童 90%

○学校は、子供に寄り添い、教育活動をしている。 保護者 93%

○学校は子供のことを相談しやすい。 保護者 90%

○学校は、学校だより、学年だより、さくら連絡網などで、学校の教育活動を知らせている。 保護者 96%

前期とほぼ同様の結果となった。今後も引き続き、全ての児童が学校が楽しいと言える環境を全職員でつくっていくよう努める。そのためにも、1日の中で最も長い「授業」が、分かりやすく、楽しくなるように努め、その中で、一人一人のよい姿を見つけ、認め、称揚すること、そして子供たち同士がお互いに思いやりをもって生活できる環境にすることを目指していく。保護者の方々とも連携を図り、情報を共有しながら進めていきたい。

○先生は、クロームブックやICT機器を使った授業をしてくれる。 児童 96% 保護者 95%

ICT機器を積極的に取り入れた授業を進めてきたことに加えて、ICT活用のモラル指導にも力を入れてきたことがよい結果につながっている。また、9～10月には全校体制で、タブレット持ち帰り、ICT活用の推進を図ったことで、より意識は高まった。

デジタル・アナログ、どちらのよさも子供たちに伝えながら、よりよい判断をして主体的・協働的に学んでいくことができるようにしていきたい。

○先生のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらった学習や活動は楽しい。 児童 94% 保護者 97%

地域・保護者の協力のおかげでCSボランティアの活動が大変充実している。

2学期は、運動会の片付け、持久走記録会の見守り、図書（読書祭り等）、総合、家庭科、図工など、3学期には校外学習の見守りや九九検定など、多くの活動に、多くの方がボランティアとして参加してくださった。今後も、ボランティアの方々からの声を大切にしながら、よりよい活動にしていくことができるよう努めていく。